



交通事故を起こしてしまつたら

法テラス八雲法律事務所 弁護士 坪井 清隆
(函館弁護士会所属)



■車はとても便利なものですが、同時に、私たちや周りの方の人生を大きく変えてしまうかもしれないリスクを伴うことも、また事実です。今回は、交通事故について、お話ししたいと思います。

■交通事故の加害者には、刑事上の責任、民事上の責任、行政上の責任と、3つの責任が生じます。

■刑事上の責任としては、道路交通法上の刑罰として、スピード違反、救護義務違反などがあります。そのほか、殺意や傷害の意思をもって人をひいた場合には殺人罪・傷害罪、殺意や傷害の故意がなくても過失運転致死傷・危険運転致死傷などが成立します。また、負傷者をいったんは病院に運ぶために自分の車に乗せて、病院につく前に気が変わって路上に置き去りにしたりすると、保護責任者遺棄ないし殺人罪が成立する場合があります。気が動転している中で、思わずとつた行為により、大きな責任が生じる場合があるので、注意が必要です。

■民事上の責任としては、被害者の損害の賠償責任があります。治療費、休業損害、物的損害などの損害項目について、金銭的な賠償を行うこととなります。事故の態様や過失割合について争いがある場合には、弁護士のアドバイスを受けることが望ましいと思います。

■行政上の責任としては、免許の効力の停止や取り消しなどがあります。交通事故の加害者になってしまった場合は、3つの責任すべてについて、きちんと対処することが必要です。弁護士に相談するときは、これら3つの責任についてきちんとアドバイスをもらうようにして下さい。刑事上の責任については、軽微な罪の場合、弁護士の関与がないまま刑事手続が進んでしまうことが多いので、特に注意が必要であると言えます。

■当事務所では、交通事故のトラブルをめぐる相談をはじめ、皆さまからの各種法律相談を承っております。一定の資力要件を満たす方は、3回まで無料の法律相談をすることもできます。少しでも気になることがございましたら、お気軽にぜひ「法テラス八雲法律事務所」(☎050-3383-8366)まで相談予約のお電話をお寄せください。また、「法テラス江差法律事務所」(☎050-3383-5563)でも、ご相談を承っておりますのであわせてご利用ください。

八雲警察署からお知らせ

水難事故の防止 ～海や川危険がいっぱい 潜んでいる～

- (1)波の力で倒されたり、沖に流される危険があります。
水辺で遊ぶ子どもの近くから離れないようにしましょう。
- (2)指定された海水浴場内で、遊泳しましょう。
遊泳禁止区域では、離岸流や急な深みなど多くの危険があります。
- (3)体調不良時や飲酒後の遊泳は危険です。
体調不良時や、お酒を飲んだ後は呼吸が乱れやすいので入水を避けましょう。
- (4)釣りをするときは、救命胴衣を必ず着用して、安全な場所で行いましょう。
高波時の防波堤、流れが速い岸辺、滑りやすい岩場には近寄らないようにしましょう。
- (5)水上オートバイは遊泳区域に入らないこと。
安全航行に努め、救命胴衣を装着しましょう。

平成30年度(第2回) 北海道警察官採用試験 北海道警察官募集

- 【試験日】9月17日(月・祝)
※1次試験は八雲警察署内で受験できます。
- 【受付期限】8月24日(金)まで
- 【採用予定人員】200名程度
男性A区分45名程度、女性A区分10名程度
男性B区分110名程度、女性B区分35名程度
- 【受験資格】
- ・A区分
学校教育法による大学(短期大学を除く)などを卒業した方(平成31年3月卒業見込者を含む)
 - ・B区分 A区分以外の方
 - ・年齢
昭和61年4月2日～平成13年4月1日までに生まれた方(平成31年4月1日現在で18歳以上33歳未満)
- ※24時間受け付けています。

【問い合わせ先】函館方面八雲警察署 ☎0137-64-2110